

令和3年度 林業普及週間現地情報 (3/22～3/25)

森林管理課

第2回八重山林業研究会の開催

3月25日(金)

令和4年3月25日(金)、石垣市にある平得県営林において、第2回八重山林業研究会を開催した。

八重山林業研究会とは、石垣市、竹富町、与那国町の森林・林業・緑化担当、八重山森林組合、佐藤林業、西表熱帯林育種技術園、(有)うえざと木工及び沖縄県八重山農林水産振興センターの職員を会員とし、八重山地域の森林・林業・緑化の推進に寄与することを目的とし設立されている。

今回は、石垣市及び八重山森林組合の職員が参加した。

まず最初に県営林事業について、人工造林、樹下植栽後の下刈りのみでなく、除伐及び保育間伐の重要性を、事業地を見学しながら説明を行った。石垣市有林及び与那国町有林において、過去の造林地で除伐及び保育間伐が必要な林分があることから、引き続き、各施業の重要性、方法などを普及していく。

次に、県が令和2年度にセンダンを造林した現場で、センダンの幹を通直に仕立てるための保育管理技術について八重山農林水産振興センター職員が説明し、参加者全員でセンダンの芽かき・枝打ちを実施した。参加者からは、最初、センダンの葉と枝の違いが判別しづらいとの意見があったが、作業中盤からは、自ら判別できるようになっていた。

今後も、定期的にセンダンの保育管理技術に関する現地研修を実施し、早生樹の育林技術の普及・定着を図っていく。



県営林事業説明



センダン芽かき作業